

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府吹田桃山台第2期	階数	地上12F
建設地	吹田市桃山台	構造	RC造
用途地域	第1種中高層、31m第3種高度地区	平均居住人員	273 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2023年9月11日
敷地面積	7,883 m ²	作成者	株式会社都市環境設計
建築面積	564 m ²	確認日	2023年9月11日
延床面積	5,236 m ²	確認者	大久保誠吾



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	117%
③上記+②以外の	117%
④上記+	117%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

音環境	2.7
温熱環境	3.0
光・視環境	3.3
空気質環境	2.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.6

機能性	2.5
耐用性	2.8
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

水資源	3.0
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.2

地球温暖化	1.6
地域環境	2.5
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
府営住宅として、安全性・経済性を重視した良質な住環境を創出し、人と街にやさしい『まちづくり』を行います。		特にありません。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
各住戸にはバルコニーを設け、採光・通風を確保し、各住戸の遮音性能については、重量床衝撃音対策等級2を確保し、断熱性能については、省エネルギー対策等級3を確保しております。	バリアフリー新法の『移動円滑化誘導基準』を満たし、車椅子利用者・高齢者にも配慮しております。	景観については単調なデザインを避けるため、低層部と高層部には色彩の変化をつけております。また、死角の無い計画とする事で、犯罪面にも配慮しております。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
各住戸は、外皮に2方向面しており、自然通風・自然採光を確保する計画としております。	床フローリング下にはパーティクルボードを使用しております。	特にありません。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0074

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪府営吹田桃山台第2期高層住宅(建て替え)新築工事							
	建設地	吹田市桃山台							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-					
①	CO2削減			2					
②	みどり・ヒート アイランド対策			2					
③	建物の断熱性			3					
④	エネルギー削減			3					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	1.6	2
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.4	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		